



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 3 4

発行 令和3年12月3日
発行責任者 校長 菅野 靖



11/25「東日本大震災・原子力災害伝承館」「とみおかアーカイブミュージアム」訪問



【東日本大震災・原子力災害伝承館での全校生での集合写真】

東日本大震災と福島第一原子力発電所の災害の複合災害から10年が経過し、放射線・防災教育の理解を深めるために、双葉町の「東日本大震災・原子力災害伝承館」と富岡町の「とみおかアーカイブミュージアム」に全校生で訪問しました。時間の経過とともに震災の記憶が色あせ、震災を知らない生徒が増えてきており、未曾有の大災害が他人事のように感じている人が増えてきています。見学地に向かう間にすれ違う除染トラックの多さに心が重くなり、バリケードで閉ざされた雑草に覆われた家屋や震災のまま時間が止まっているかのように崩れて廃墟と化した商店を目の当たりにして、ショックを受けました。思わず「福島県の復旧は進んでいるが、復興は未だに進んでいない」と心の中でつぶやいてしまいました。訪問先では、展示されている資料を熱心に閲覧し、生徒一人一人がタブレットを使い記録を取りながら3.11の被害や福島第一原発の放射能汚染による全町村の避難について理解を深めました。また故郷の文化遺産を保存する裏方の取組や自然災害・原発災害により失った故郷を取り戻す取組について心を揺さぶられながら学びを深めていました。今回の訪問により、見て、感じて、思いをもつことができた生徒の皆さんに、震災を風化させず、ふるさと福島現状や復興の姿を発信できるようになってほしいと思います。そして、これから30年以上続くであろう復興に対し、自分たちがふくしまのためにできることを考えて、行動に移せる大人になってほしいと願っています。

令和4年度 生徒会役員選挙立候補者の朝の選挙運動

明日の五箇中のために献身的に活動

11月27日(月)より、令和4年生徒会役員選挙の選挙運動が始まりました。生徒会長立候補者が2名、生徒会副会長立候補者が3名です。朝の登校の時間に昇降口で、候補者が選挙公約を口にしながら、挨拶運動を行っています。候補者の選挙公約は次の通りです。

【会長立候補】

- 小松 直輝さん：学校に来るのが楽しいと思える五箇中学校を目指します。

(応援者：堂々としていて周りを見る目があり、会長にふさわしい人物です。)

- 齋藤 正弥さん：五箇中生の生徒ひとり一人が過ごしやすい学校を目指します。

(応援者：優しい人柄で、何事にもあきらめずに責任をもって行動できる人物です。)

【副会長立候補者】

- 乾 琴葉さん：コミュニケーションを大切に、仲良く明るい五箇中学校を目指します。

(応援者：行動力があり、生徒の意見を取り入れてより良い五箇中学校にしてくれる人です。)

- 佐藤 陽香さん：楽しく実りある学校生活を送れるような五箇中学校を目指します。

(応援者：明るく一生懸命で、周りの意見に耳を傾け最後までやり切れる人物です。)

- 芳賀 奏斗さん：五箇中学校をいじめのない学校にします。

(応援者：礼儀正しくまじめで、誰かのために行動し人を敬うことができる人物です。)



【朝の選挙活動の様子】